

グループ討議 課題

テーマ: 紀要に含まれる論文以外の扱い

グループ名 [ 4F ]

---

2018年度機関リポジトリ新任担当者研修



JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会

# 紀要に含まれる研究論文以外のページ

巻頭言

座談会

報告

編集後記

## 各大学の現状

A大学：研究論文以外の取り扱い方針を定められておらず、リポジトリ未掲載

B大学：紀要に研究論文以外の掲載がない

C大学：項目を決めて入れられるのであれば載せたい  
(リポジトリ未構築)

D大学：目録作成者、利用者など立場によって掲載に関する考えは異なる

# 立場による見方の違い

## 教員

- ・ 大きく扱ってほしい？
- ・ インターネット上に公開されると思わずに書いている場合もある？

## リポジトリ 担当者

- ・ 規則に落とし込めないものは入れたくない
- ・ 論文と同列に扱わないことで教員が気を悪くしないか不安

## 利用者

- ・ 紀要のコンテンツがすべてリポジトリに掲載されているはず
- ・ 一元アクセスできた方が便利

## 中間報告

そもそもリポジトリの性質として、  
利用者の利便性を高める方向が望ましいか

## 巻頭言・編集後記の扱いについて

本文ではないが、筆者に依頼をし、書いていただいた文章なので、紀要の大事な一部と考えるのがよいのでは



リポジトリとして掲載するか否かは大学により考え方の違いもあるが、少なくとも、その他(other)として登録した方がよいのでは

## 座談会の扱いについて

紀要に載せることを前提に行うか否かで扱いが違ってくるのでは

また、基本的に紀要に座談会の記録を載せることをしない大学が多いように見受けられる

話したことを載せるのではなく紀要に載せるために書いた論文を載せるのが本来の趣旨なのでは  
また、著作権の問題も絡んでくるので

## 報告の扱いについて

報告は、基本的にデータを収集したりなどの研究の結果という意味合いもあるので、紀要として一つの項目として成り立つ

また、実際、紀要に報告の項目があるものが多い

## 問題点

特に登録に関してははっきりしない紀要の規程があるため、著作権などの観点から、問題が多々残されている

例: 随分前の論文の遡っての承諾  
掲載に関しての許可の長時間の無回答など

## 結論

利用者が利用しやすく、すぐに情報が取り出せるという掲載の仕方がよい

著作権も含め、掲載されているか、掲載を拒否されているかも速やかにわかるようにできれば、利用者が探す時間を短縮できる